

みずほCustomer Desk Report 2016/06/16号(As of 2016/06/15)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	106.08	1.1211	118.92	0.9637	1.4120	0.7352
SYD-NY High	106.40	1.1299	119.46	0.9663	1.4220	0.7447
SYD-NY Low	105.41	1.1189	118.73	0.9591	1.4094	0.7334
NY 5:00 PM	106.00	1.1260	119.37	0.9611	1.4204	0.7409
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	13.8/14.45		△25RR		2.658	Yen Call Over

	日本2年債	日本10年債	米国2年債	米国5年債	米国10年債	独10年債	英10年債	豪10年債
債券市場	-0.2770 ▲0.4bp	-0.1790 ▲2.4bp	0.6696 ▲5.3bp	1.0715 ▲6.6bp	1.5720 ▲4.1bp	-0.0100 ▲0.6bp	1.1200 ▲2.4bp	2.0660 ▲1.7bp

	USD/CNH	ドルインデックス
為替市況	6.5945 ▲0.0121	94.61 ▲0.32

	CRB指数	NY金	WTI	Dubai Spot
商品市況	191.740 ▲0.47	1,288.300 0.20	48.010 ▲0.48	45.63 0.19

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
6月15日	09:30	豪	ウエストバク消費者信頼感指数	6月 -1.0%	-
	15:00	日	工作機械受注(前年比)	5月 -24.7%	-
	15:45	仏	EU基準CPI(確報・前月比/前年比)	5月 0.5%/0.1%	0.3%/0.0%
	15:45	仏	CPI(確報・前月比/前年比)	5月 0.4%/0.0%	0.4%/-0.1%
	17:30	英	ILO失業率	4月 5.0%	5.1%
	20:00	米	MBA住宅ローン申請指数	-	-2.4%
	21:30	米	PPI(最終需要・前月比/前年比)	5月 0.4%/-0.1%	0.3%/-0.1%
	21:30	米	ニューヨーク連銀製造業景気指数	6月 6.0	-4.90
	22:15	米	鉱工業生産(前月比)	5月 -0.4%	-0.2%
	03:00	米	FOMC政策金利	-	0.25%-0.50%
03:30	米	イエレンFRB議長講演	-	-	

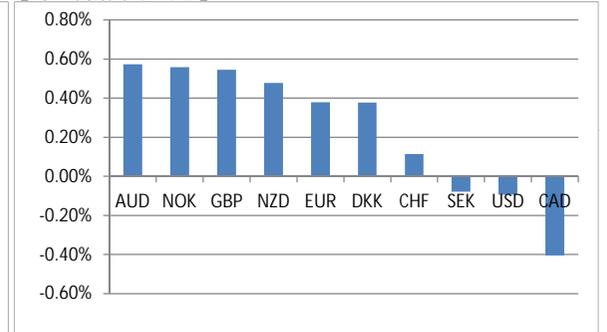
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回	
6月16日	08:50	日	対内・対外証券投資	-	-
	10:30	豪	雇用者数変化/失業率	5月 15.0K/5.7%	10.6K/5.7%
	15:30	日	日銀金融政策決定会合	-	-
	17:30	英	黒田日銀総裁講演	-	-
	18:00	欧	小売売上高・除く自動車燃料(前月比/前年比)	5月 0.3%/3.8%	1.5%/4.2%
	18:00	欧	CPI(前月比/前年比)	5月 0.3%/-0.1%	0.0%/-0.1%
	18:00	欧	コアCPI(前年比)	5月 0.8%	0.8%
	20:00	英	BOE政策金利/資産購入目標	-	0.50%/375B
	21:30	米	新規失業保険申請件数	-	270K 264K
	21:30	米	フィラデルフィア連銀景況指数	6月 1.0	-1.8
	21:30	米	CPI(前月比/前年比)	5月 0.3%/1.1%	0.4%/1.1%
	21:30	米	コアCPI(前月比/前年比)	5月 0.2%/2.2%	0.2%/2.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	東京時間のドル円は106.08レベルでオープン、日経平均株価が前日比マイナスで寄り付いた後下落幅を拡大するとドル円は一時105.97まで下落。しかし、五・十日に当たることから仲値にかけては実需勢のドル買い期待もありすぐに106円台を回復。その後は日経平均株価が上昇したことに加えて、足許で下落基調が続いていたユーロ円やポンド円のショートカバーが強まったこと等からドル円も連れ高となる局面も見られたが、FOMC、日銀金融政策決定会合と重要イベントを控える中では上値も限定的、106円台前半でのみ合い推移が続いたが、引けにかけてドル円の買いが強まり106.34まで上昇した後、結局106.28レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は106円台前半での小動きとなった。106.28レベルでオープンすると欧州株が堅調推移となったことを背景に一時106.40まで上昇。しかし、その後は重要イベントを前にして動意に乏しいレンジ内での横這い推移となり、106.22レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.1217レベルでオープンし、目立った材料のない中、1.12台前半で方向感に欠ける展開となり、1.1227レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.4171レベルでオープン。英4月ILO失業率は前月から0.1%低下の5.0%と市場予想(5.1%)より強い結果となり、3ヶ月週平均賃金も前年比+2.0%と市場予想を上回ると、それまで1.41台後半で推移していたポンドドルは一時1.42台前半まで小幅上昇。しかし、23日の国民投票を控え様子見ムードが強いため値が伸びず、その後反落し1.4194レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外市場で106.40まで上昇したドル円は、106.22レベルでNYオープン。朝方は、米5月PPIヘッドライン、コア共に予想を上回り、同時に発表の6月NY連銀製造業景気指数も予想を上回ったが、続いて発表の5月鉱工業生産が予想を下回ったこともあり、105.79まで下落する。その後はFOMC結果発表を控え、106円手前での推移が続く。注目のFOMCでは、今年のインル期待が上方修正された一方、ドットチャートでは今年50bpの利上げを見る向きは3月同様9人となったが、25bpが3月時の1人から6人へ増加し、75bpが3人から1人へ、100bpが4人から1人へ減少した。GDP予想も下方修正され、声明文も予想よりハト派との見方にドル売りが強まり、5/31に付けた安値105.55を抜け、ストップを巻き込み105.41まで下落する。イエレン議長の記者会見では、労働市場の改善のペースが著しく鈍化したとする一方、これまでのスタンス同様、どの会合も生きた会合と繰り返し、7月の利上げの可能性を排除しなかったことから、ドル買い戻しが優勢となり106.08まで戻す。終盤に掛ける、明日の日銀金融政策決定会合を控えポジション調整中心の動きとなり106.00レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場でドル売りが優勢となったことから徐々に値を戻し、1.1227レベルでNYオープン。朝方は1.1210まで下落する局面もあったものの、その後じり高で推移し1.1253まで戻す。午後はFOMC声明文、ドットチャートを受けドル売りが優勢となり、1.1299まで上昇するが、イエレン議長の記者会見を受けドルが買い戻される展開に反落し、1.1260レベルでクロスした。(NY 00531 113 682 井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 西谷・森谷

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.00-106.30	1.1150-1.1300	118.00-119.50

【マーケットインプレッション】

昨日は北米時間に米5月PPI、米6月ニューヨーク連銀製造業景気指数が発表され、どちらも市場予想をやや上回る数字となるも、直後にFOMCを控えて反応は限定的。FOMCは大方の予想通り政策金利は据え置き、政策金利見直し(ドットチャート)は前回同様年2回利上げ見通しが維持されたものの、年1回利上げを予測するメンバーが前回比増加(1人→6人)したことでややハト派寄りを受け止められ、一旦はドル売りに反応。ドル円は年初来安値を更新し、105.41まで下落した。しかし総じてバランスの取れた内容で、特段サプライズは見られなかったことから、すぐに買い戻される流れとなると、ドル円は106円台を回復して引けている。  
 本日は日銀金融政策決定会合が開催され、市場コンセンサスは追加緩和無しとなっている。そうはいものの、実際にアンチレンジとなれば失望売りが若干出ると見られ、下方に警戒して臨みたいところ。但し6/23の英国の国民投票を控えて、積極的にポジションを積んでいく地合でもないとと思われることから、大きな値幅は期待しにくいと考えている。